

令和5年度第八期委員会スケジュールとこれまでの振り返り



諮問
 (1)市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくり
 (仮称)地域委員会の設置、地域担当職員の配置
 (2)現役世代の地域参加、行政への参画の促進

策定中

条例改正文案の検討
しくみ・しかけの検討

条例改正
・例規制定

組織
改正

第七期多摩市自治推進委員会

第八期多摩市自治推進委員会(～令和5年12月13日)
※2か月に1回開催

第九期多摩市自治推進委員会

「地域協創の制度内容の検討」

「地域協創の制度化」

⇒九期への引継(申送)事項
⇒市への答申、報告

⑨4月 ⑩6 ⑪8 ⑫10 (⑬12)



中間報告



第7期 多摩市自治推進委員会



申し送り事項

地域担当職員の試行導入

配属職員OJT
(実地でのフォローアップ)

エリアサポーターやエリアミーティング等地域のしくみ・しかけ検討・試行導入

人財育成方針、協働指針等への反映

地域担当職員対象研修・講座等

庁内広報

市民向け広報

市民向け広報

条例改正等
説明会

庁内説明会

令和5年4月

七期から八期への申し送り事項

(仮称)地域委員会構想実現 に向けた制度の具体化

- ・ 地域担当職員制度
- ・ 地域制度
(プラットフォームのあり方、しくみ等)

議題にあがった検討課題

- ・ 地域担当職員の負担軽減制度
- ・ デジタル化、オンライン化の活用
- ・ 継続的な課題解決の協議・実践のしくみ
- ・ コミュニティ参加の障壁を取り除くしくみ

条例、計画、方針類への反映

- ・ 自治基本条例
- ・ 総合計画、総合戦略、SDGs等
- ・ 市民参画、市民協働関係方針

そのほか市の取組みとの連携・整合

- ・ 多摩市版地域包括ケアシステムの構築
- ・ 大学連携や生涯学習
をはじめとした地域関連施策・事業

第八期多摩市自治推進委員会で検討すること



●R4.2～R4年度「地域協創の制度内容の検討」

- ・多摩市におけるプラットフォームのあり方、しくみ(ゆるやかなつながりをつくり、支える制度(地域担当職員、中間支援、交付金等))
- ・多世代共生型コミュニティの形成に向けたモデルエリアでの取組み(既存組織や制度の活用、デジタル活用、掘り起こし策等)
- ・他自治体の事例調査

●R5年度「地域協創の制度化」

- ・条例・規則等への制度の反映
- ・関連施策との整合
- ・市民への周知・意見照会、必要性の普及等

- 議論▶**
- どんな地域社会を目指すか、そのために必要なしくみは？
 - 市民(エリアに囚われない・エリアを基盤とする)にとってのメリットや意義は？
 - 多くの市民が参画・つながるために必要な取組み・プラットフォームとは？
 - 市・市職員・公共施設の役割や制度は？ 関連する機関の役割は？
 - 他自治体での取組みは？
- 実践▶**
- モデルエリアでの参画方法・つながりのつくり方
 - デジタル活用など新たな手法の試行、既存のしくみの有効活用

制度化に向けた調整
※関連計画等との時間的整合

周知・普及
※意見聴取だけでなく、実践を通して

第八期多摩市自治推進委員会の検討テーマ

テーマ 1

エリア性の位置づけ

- 人材・発掘、養成 ⇒ エリアを超えて、市内全域で
- プラットフォーム・場づくり・課題解決
 - ⇒ エリア内の人を中心に、エリア外の人も含めるように！
 - 学生や世代が違う人の意見は非常に参考になる
- エリア外との連携 ⇒ 地域担当職員や中間支援機関による働きかけ・伴走

テーマ 2

無関心層の「掘り起こし」から自治の推進へ

- きっかけづくりは、多くの機会が提供されている
- しかしながら、ステップアップしていく機会が多いとは言えない
 - ⇒気づいたこと、学んだことを活かす機会(出口)が少ない ⇒地域担当職員がプロデューサーとして
- 自分たちの住むまち(地域、エリア)をよりよくなりたいという意識は高い
 - ⇒つながりやギブアンドテイクの可視化 ⇒行動した結果・成果を実感 ⇒自治意識につなげる

テーマ 3

中間支援組織のあり方

- 中間支援機能を担う組織、団体の育成から始める
 - 当初は、市の支援が必要 ⇒ 将来的には、独立した活動ができるようにする
- 地域に関わりたいという潜在意識はある
 - ⇒このような層のスキル、時間をうまく活用できるしくみができるかがカギ

テーマ 4

地域担当職員の役割

- まずは、専任の地域担当職員から配置
 - ⇒エリアミーティングの開催、プロジェクトの支援などを通じて
 - 人材づくり、団体間の関係づくりがメインの職務
 - ⇒職務を通じて、エリア内の様々な資源(団体、人、企業、大学など)を知り、マッチングさせていく
- 若手職員 ⇒ 地域(エリア)サポーター
 - 行政職員として必要な学びの場として地域というフィールドを活用(研修・兼業などの扱い)

